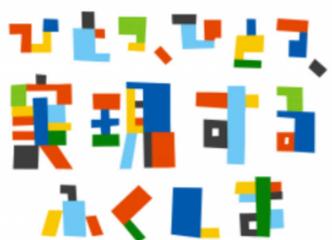


社会教育だより



発行：相双教育事務所

地域の子どもは、地域の力ではぐくむ

福島県社会教育施策における、地域全体で子どもたちを教え育てる「放課後子ども教室事業」は、放課後の子どもたちが安心して活動できる居場所づくりを行っています。

相双域内における今年度の「放課後子ども教室事業」は、以下の11教室で実施されました。

- [相馬市] プレイススポットそうま 月・水曜日コース（中村一小）
はまっ子教室（中村二小）、さくら子ども教室（桜丘小）、
いとよ子ども教室（飯豊小）、みどりのふれあい広場（八幡小）
やまかみ子ども教室（山上小）日立木ポプラっ子教室（日立木小）
- [南相馬市] 小高放課後子ども教室（小高4小）
- [葛尾村] 葛尾キッズクラブ（葛尾小）
- [川内村] 川内村放課後子ども教室（川内小）
- [広野町] ひろの元気教室（広野小）



放課後子ども教室は、子どもたちにとって、友だちとの学習、スポーツや文化活動などの体験活動の場、さらには地域の方々をつなぐ交流の場です。

コーディネーター、安全管理員、活動指導員を担う地域を知る方々の参画が、子どもたちの安心感をうみ、子どもたちは温かい雰囲気と優しさに包まれながら、放課後の学習や体験活動を楽しむことができます。

当事務所では、今年度も全ての放課後子ども教室を訪問させていただきました。コロナ禍のために、予定していた開催時期が遅れてのスタートとなった教室が多くありましたが、新型コロナウイルス感染対策を十分に講じての活動をされていたことに感謝いたします。

なお、各教室のスタッフの皆さんから、以下のような教室運営上の工夫や課題を伺うことができました。

<工夫や配慮したこと>

- コロナ禍のために、教室の縮小化（登録人数の制限・活動場所の分散化）や手指消毒等の徹底を図る。
- 宿題や自由遊びなど時間を決めて、活動にメリハリをもたせている。遊びの時間を確保する。
- 「活動日誌」を通して、活動状況を教育委員会と学校とで共有化を図っている。
- 「放課後児童クラブ」との一体型での運営を行う。
- 出来るだけ子どもたちのニーズに応えた体験活動を計画し実施している。
- 全体での活動の時間と自由時間を組み合わせている。

<課題>

- 世代交代を見据えたスタッフを募る。共に活動してくれる若い世代の協力が欲しい。
- 特別な支援を要する児童への対応の難しさを感じながら指導している。



異学年の子どもたちが遊ぶ様子

特色ある取組の紹介

1 地域住民、外部団体と連携した体験活動－ひろの元気教室－

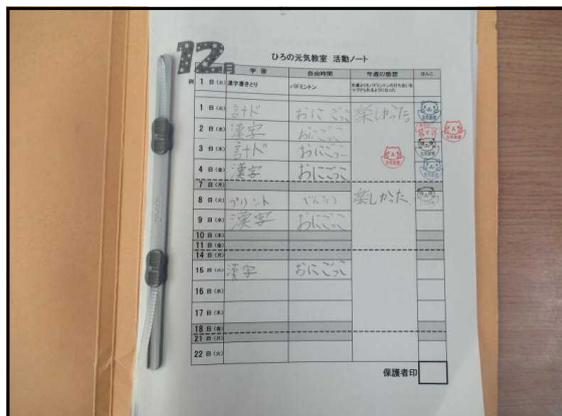
ひろの元気教室は、平成26年度から始まった教室です。公民館職員の方がコーディネーターを務め、安全管理員と活動指導員のスタッフは通常2名体制をとられています。週5日間の教室では、4年生から6年生の20名が活動（40分間）しています。

コーディネーターとスタッフの方は、「少しでも子どもたちの体験活動を豊かなものにしたい」「本物にふれさせたい」という思いで、子どもたちの要望を取り入れた体験活動を月に2回（2日間）実施しています。

今年度はコロナ禍の影響で、年度途中からの実施となりましたが、以下のような体験活動が実施されました。

- ◇プラバン作り
- ◇スポーツ教室及びたいそう教室（総合型地域スポーツクラブ「みかんクラブ」との連携）
- ◇調理実習（全4回）
「かりかり焼き」「食パンを使ったおやつ」「サツマイモのおやつ」「クリスマススペシャル
- ◇オンライン授業「おいしい！野菜チャレンジ」（カゴメと放課後NPOアフタースクール）

ひろの元気教室では、子どもたちのニーズ把握のために、年度始めに「みんなのアンケート」調査を行い、スタッフの思いとマッチングした体験活動を地域住民の協力と外部団体の支援をいただきながら実施しています。また、子どもたちの自主性・主体性を育むために、子どもたちは、「活動ノート」にその日の学習内容、自由時間の過ごし方、そして、週の感想を記録しています。



子どもたちの「活動ノート」



コーディネーターに集まる子どもたち

2 子どもの安心・安全を守るために ～相馬市の取組～

今年度、相馬市では、放課後子ども教室における緊急時に備えるための取組が行われました。あの東日本大震災を経験しているスタッフの皆さんは、「もしもの時、子どもたちを安全に誘導、避難をさせるために、『何を、どのようにしなければならないのか？』を自ら学ばなければならない。」という思いから、それぞれの教室においてスタッフの研修の機会をつくりました。

日立木ポプラっ子教室では、同じ日立木小学校の敷地内にある放課後児童クラブの「避難訓練」に教室のスタッフも参加しました。訓練後、校長先生と教頭先生との話し合いで、安全な避難経路を確認されました。

みどりのふれあい広場では、学校行事の「避難訓練」を、教室のスタッフが見学しました。児童の避難する様子と先生方の動きから、安全確保の対応の仕方を学ぶことができたそうです。

これらの実践における事例を、各教室のスタッフ代表が参集するチーフ会議において、共有されました。